

1. 基本事項

作成日 令和03年07月05日(月)

施策		スポーツ・レクリエーションの推進		期間	H. 30 ~ H. 4	施策担当部課名	生涯学習スポーツ振興課
第2次総合計画	行政計画分野別名	大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり(教育・文化)	施策の概要 (目的や対象)		誰かがスポーツに参加できる環境を整備し、スポーツを通じて人と人とのつながりを深め、さらなる健康づくりを進めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツによるまちの活性化を図る。	
		中項目	200002 誰もが生きがいをもち、学ぶことのできるまちづくり				
		小項目	200003 スポーツ・レクリエーションの推進				
重要度及び満足度の状況	スポーツの振興について、重要度については、平均を下回るが、満足度について平均を上回っている。			施策の推進のための主な取り組み	スポーツ教室・イベント開催事業		
施策を取り巻く社会状況等	国は本格的なスポーツ立国の実現を目指すため2011年8月にスポーツ基本法を施行した。2021年東京オリンピック・パラリンピックが開催され、さらなるスポーツ振興の好機となっている。				スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業 スポーツ推進委員活動推進事業		

2. 評価指標

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	指標値(上段は目標値・下段は実績値)					
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標	スポーツやレクリエーションを行っている市民の割合	%	-	41.00	41.50	42.00	42.50	43.00
	深谷市民まちづくりアンケート		42.60	38.00	39.30	36.30	0.00	0.00
	社会体育施設の利用者数	千人	-	538.60	539.00	539.30	539.60	540.00
	公共施設予約システムより抽出		455.79	478.39	486.73	245.23	0.00	0.00
	東京オリ・パラ、ラグビーWCを契機としたイベントの参加者数	人	-	4,000.00	5,000.00	5,000.00	4,500.00	4,000.00
	イベント参加者実績を集計		10,955.00	12,038.00	15,322.00	2,415.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	1	1:現状維持 2:拡充 3:縮小
<p><評価コメント></p> <p>スポーツやレクリエーション活動を行っている市民の割合が外出自粛などの影響により低下したと推測される。外出自粛などにより生活習慣が変化し、身体への悪い影響が報告されている。そのような中で適度な運動・スポーツを行うことは、身体に良い影響を与えることから誰でも運動・スポーツを実践できる環境づくりをしていくが必要である。</p>		
評価者		生涯学習スポーツ振興課長 岡田 真

4. 改善・改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な改善策)

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充 <input type="checkbox"/> 事業の新規立案 <input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小 <input type="checkbox"/> 事務事業の再編 <input type="checkbox"/> その他	誰でも運動・スポーツのできる環境づくりの1つとしてウォーキング事業を推進していく。市内12地区に常設コースを設置し、コース内の歴史的価値のある地点や地域の風景を感じられる地点を巡り、改めて地域の魅力を再発見できるコース設定を心掛ける。そのことにより長期的に継続できる運動の機会づくりを目指す。

5. 二次評価

<p><所属長の見解></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施が進まず成果が得られなかった。こうした状況下においても運動・スポーツを自然と楽しむこと、運動・スポーツを通じて毎日を健康で過ごし活力のある生活を送れるよう誰でも気軽にできる運動・スポーツのきっかけづくりを積極的に推進していくことが必要である。そのため、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた取組の検討を進め、ウォーキングをはじめとしたスポーツ・レクリエーション活動の推進など、スポーツによるまちの活性化に努めていく。</p>	
所属長	教育部長 荻野 昌利